



フィデリティ・世界分散・ファンド (債券重視型 / 株式重視型)

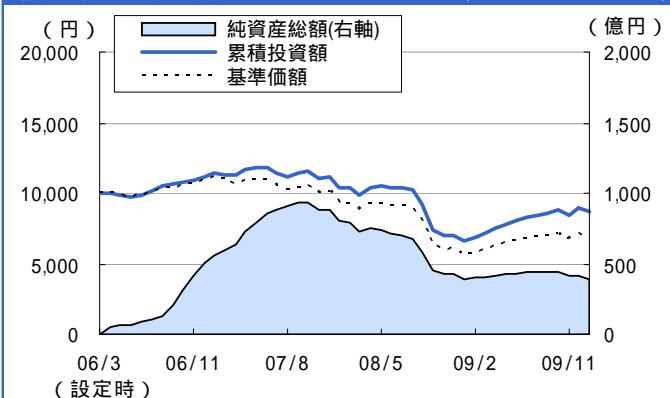
販売用資料

愛称： 3つのチカラ

2010年2月(月次改訂)

フィデリティ・世界分散・ファンド(債券重視型)

設定来の運用実績 (2010年1月29日現在)



累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、申込手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。基準価額は信託報酬控除後のものです。当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

基準価額	6,888円	(2010年1月29日現在)
------	--------	----------------

純資産総額	395.1億円	(2010年1月29日現在)
-------	---------	----------------

商品概要

形態	追加型投信 / 内外 / 資産複合
投資対象	国内外の投資信託証券
ベンチマーク	設定していません。
設定日	2006年3月9日
信託期間	原則無期限
決算日	原則、毎年1月10日、3月10日、5月10日、7月10日、9月10日、11月10日(休業日のときは翌営業日)

累積リターン

ファンド	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-3.00%	-1.21%	3.97%	30.56%	-24.33%	-13.39%

累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

分配金(1万口当たり / 税込み)

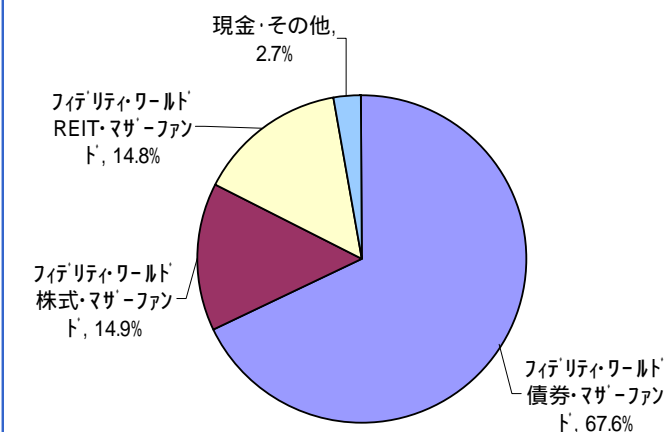
直近過去5期分の収益分配金		2010年1月29日現在
第19期(2009.05.11)	-----	65円
第20期(2009.07.10)	-----	65円
第21期(2009.09.10)	-----	65円
第22期(2009.11.10)	-----	65円
第23期(2010.01.12)	-----	65円
設定来累計額	-----	2,001円

分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

ポートフォリオの状況

【資産配分】

(2009年12月30日現在)



(対純資産総額比率)

未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

【各マザーファンドの運用実績】

(2010年1月29日現在)

マザーファンド	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
フィデリティ・ワールド債券・マザー・ファンド	-1.97%	-1.88%	2.25%	29.48%	-12.34%	-3.01%
フィデリティ・ワールド株式・マザー・ファンド	-4.67%	-0.76%	3.79%	35.14%	-37.74%	-23.39%
フィデリティ・ワールドREIT・マザー・ファンド	-6.18%	2.90%	19.53%	46.65%	-55.61%	-40.02%

【基準価額の月間の騰落額の内訳(概算)】

(2010年1月29日現在)

項目	金額
月末基準価額	6,888
月間騰落額	-277
フィデリティ・ワールド債券・マザー・ファンド	-95
フィデリティ・ワールド株式・マザー・ファンド	-47
フィデリティ・ワールドREIT・マザー・ファンド	-64
信託報酬等	-6
分配金	-65

上記の要因分析は概算値であり、実際の基準価額の変動を必ずしも正確に説明するものではありません。あくまで参考情報として提供することのみを目的としており、将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日が異なる場合があるため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。



フィデリティ・世界分散・ファンド

(債券重視型 / 株式重視型)

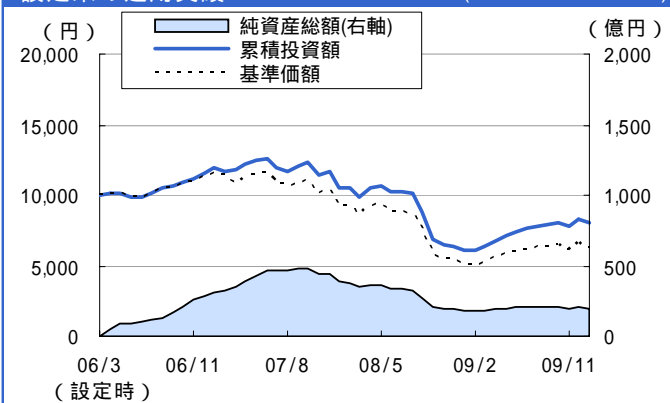
販売用資料

愛称： 3つのチカラ

2010年2月(月次改訂)

フィデリティ・世界分散・ファンド(株式重視型)

設定来の運用実績 (2010年1月29日現在)



累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、申込手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。基準価額は信託報酬控除後のものです。当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

基準価額	6,258円	(2010年1月29日現在)
------	--------	----------------

純資産総額	197.2億円	(2010年1月29日現在)
-------	---------	----------------

商品概要

形態	追加型投信 / 内外 / 資産複合
投資対象	国内外の投資信託証券
ベンチマーク	設定していません。
設定日	2006年3月9日
信託期間	原則無期限
決算日	原則、毎年1月10日、3月10日、5月10日、7月10日、9月10日、11月10日(休業日のときは翌営業日)

累積リターン

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-3.92%	-0.89%	4.45%	32.46%	-32.66%	-19.97%

累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

分配金(1万口当たり/税込み)

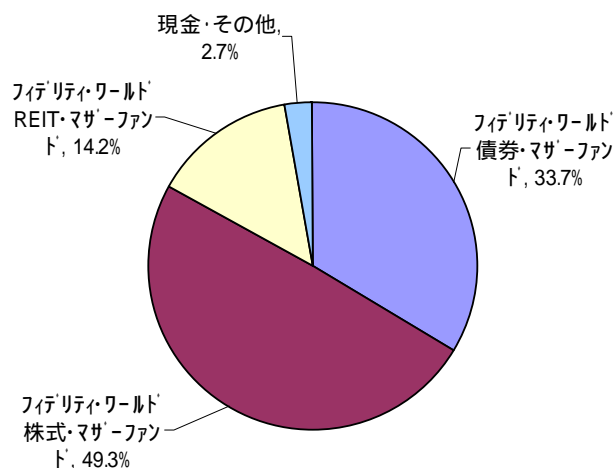
直近過去5期分の収益分配金		
第19期(2009.05.11)	-----	60円
第20期(2009.07.10)	-----	60円
第21期(2009.09.10)	-----	60円
第22期(2009.11.10)	-----	60円
第23期(2010.01.12)	-----	60円
設定来累計額	-----	2,138円

分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

ポートフォリオの状況

【資産配分】

(2009年12月30日現在)



(対純資産総額比率)

未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

【各マザーファンドの運用実績】

(2010年1月29日現在)

フィデリティ・ワールド 債券・マザーファンド

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	-1.97%	-1.88%	2.25%	29.48%	-12.34%	-3.01%

フィデリティ・ワールド 株式・マザーファンド

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	-4.67%	-0.76%	3.79%	35.14%	-37.74%	-23.39%

フィデリティ・ワールド REIT・マザーファンド

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	-6.18%	2.90%	19.53%	46.65%	-55.61%	-40.02%

【基準価額の月間の騰落額の内訳(概算)】

(2010年1月29日現在)

月末基準価額	6,258
月間騰落額	-314
フィデリティ・ワールド 債券・マザーファンド	-44
フィデリティ・ワールド 株式・マザーファンド	-146
フィデリティ・ワールド REIT・マザーファンド	-58
信託報酬等	-6
分配金	-60

上記の要因分析は概算値であり、実際の基準価額の変動を必ずしも正確に説明するものではありません。あくまで参考情報として提供することのみを目的としており、将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日が異なる場合があるため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。



フィデリティ・世界分散・ファンド (債券重視型 / 株式重視型)

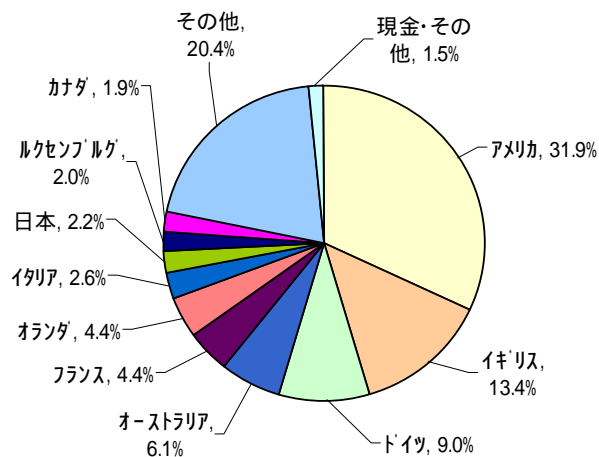
販売用資料

愛称： 3つのチカラ

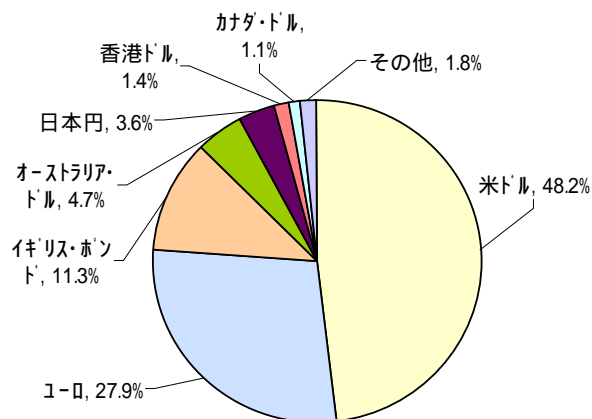
フィデリティ・世界分散・ファンド (債券重視型)

(2009年12月30日現在)

【国別配分】



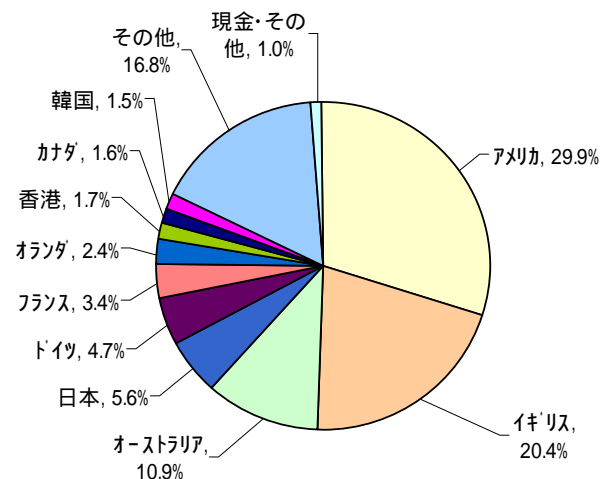
【通貨別配分】



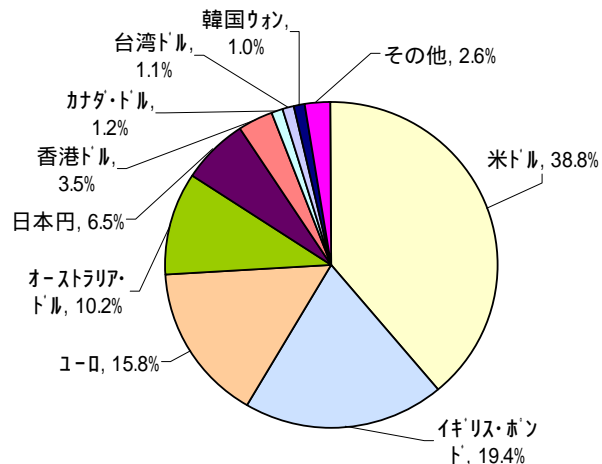
フィデリティ・世界分散・ファンド (株式重視型)

(2009年12月30日現在)

【国別配分】



【通貨別配分】



比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

国別配分は、各マザーファンドの国別配分を合算したものです。その内、フィデリティ・ワールドREIT・マザーファンドについては、組入れているREITファンドの登録国に基づき国別分類したものです。

通貨別配分は、各マザーファンドの通貨別配分を合算したものです。

フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日が異なる場合があるため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。



フィデリティ・世界分散・ファンド (債券重視型 / 株式重視型)

販売用資料

愛称： 3つのチカラ

コメント

(2010年1月29日現在)

世界債券

世界債券市場はシティグループ世界国債・インデックスで 2.41% (円ベース)。

【グローバル投資適格債】インフレ懸念が後退したことや、米国株の下落で逃避的な買いが膨らみ、相場は上昇。米10年国債利回りは3.61%と、前月末比0.23%ポイント下落。その他先進国債券は、世界的な株安から逃避買いが膨らみ上昇。ユーロ建10年国債利回りは前月末の3.39%から3.22%へ、英国10年国債利回りは4.02%から3.91%へ、日本の10年国債利回りは1.30%から1.28%へ、カナダの10年国債利回りは3.61%から3.35%へ。

【ハイ・イールド債券】米国、欧州ともに上昇。米国は、メリルリンチ・USハイ・イールド・マスター・コンストレインド・インデックスで+1.53%。欧州は、メリルリンチ・グローバル・ハイ・イールド・ヨーロピアン・イシュアーズ・コンストレインド・インデックス(ユーロヘッジ・ベース)で+3.43%。

【エマージング債券】上昇。J.P.モルガン・EMBIグローバルの月間リターンは+0.37%。

世界株式

世界株式相場は、MSCIワールド・インデックスの月間騰落率で 6.54%(円ベース)。

【北米】1月の米国株式相場は、S&P500 3.70%、ダウ工業株30種平均 3.46%、ナスダック指数 5.37%。月初は景気指標が良好であったことなどから上昇基調となるも、中旬にはオバマ大統領が表明した金融規制改革案が嫌気され、大幅に下落。月末には住宅関連指標が市場予想を下回ったことなどから相場は続落。

【欧州】MSCIヨーロッパ・インデックスは 3.79%。月初は、中国及び米国の景気指標が良好であったことなどから上昇。その後は、欧州主要企業の10-12月期決算は好悪材料が混在していたことなどから相場はもみ合いの展開。中旬にはオバマ大統領が表明した金融規制改革案が嫌気され、大幅に下落。月末には、ギリシャの財政不安が再燃したことなどを受けて再び下落。

【アジア】アジア株式指数は、MSCI AC ファー・イースト・インデックス(除く日本)で 6.13%。

韓国総合指数は 4.77%。月初は急激なウォン高の進展を受けて輸出関連株が下落したことから、他のアジアの株式市場に対して低調なスタート。その後は主要企業の好決算などから相場は上昇するも、中旬にはオバマ大統領が金融規制改革を表明したことから、相場は大幅に反落。

香港ハンセン指数は 8.00%。月初は中国本土のISM製造業景況指数などの好調な景気指標、原油や金属などの商品高や米株式市場の上昇などを受け、堅調に推移。しかし中旬には、オバマ大統領が金融規制改革を表明したことから相場は反落。

台湾加権指数は 6.69%。月初は、米国や他のアジアの株式市場の上昇、原油や金属などの商品高を背景に堅調に推移。しかし中旬には、オバマ大統領により表明された金融取引規制強化への懸念などから相場は大きく下落。

シンガポールST指数は 5.26%。月初は、米国や他のアジアの株式市場の上昇や、原油や金属などの商品高を背景に堅調に推移。中旬には、オバマ大統領が金融規制改革を表明したことから相場は下落。月末にはギリシャの財政不安が再燃から相場は続落。

オーストラリアASX200指数は 6.18%。月初は堅調な米国株式相場の影響などから上昇基調で推移。その後は中国における金融引き締め懸念やオバマ大統領が金融規制改革を表明したことなどから相場は大きく下落。

世界REIT

S&PグローバルREIT・インデックスの月間騰落率は 6.77% (円ベース)。米国REIT相場は、中旬まで堅調に推移したものの、その後、中国の金融引き締めや、オバマ大統領による金融規制改革の発表を受けて下落。月末には住宅関連指標が予想を下回ったことから相場は軟調に推移。その他、主に英国やイタリア等のREIT相場が下落。

為替

当月のドル/円相場は、約2.60%の円高(1ドル=92.10円 89.77円)。

ユーロ/円相場は、約5.61%の円高(1ユーロ=132.00円 124.99円)。

文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替レートは、三菱東京UFJ銀行発表値を使用。上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンド、およびベンチマークの動向と異なる場合があります。



フィデリティ・世界分散・ファンド (債券重視型 / 株式重視型)

販売用資料

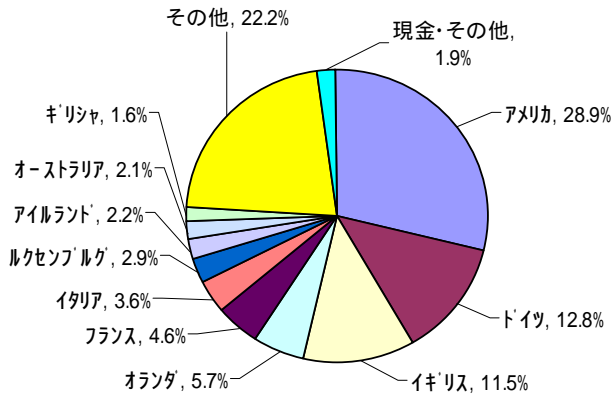
愛称： 3つのチカラ

【ご参考：マザーファンドについての情報です】

フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

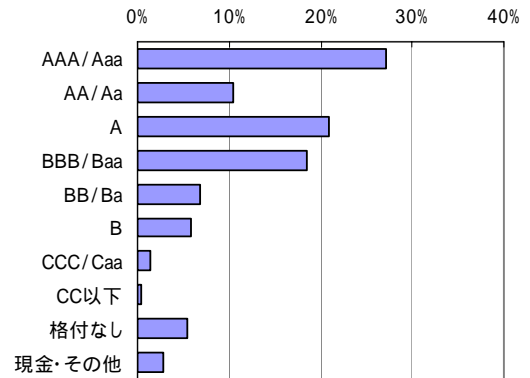
< 国別配分 >

(2009年12月末現在)



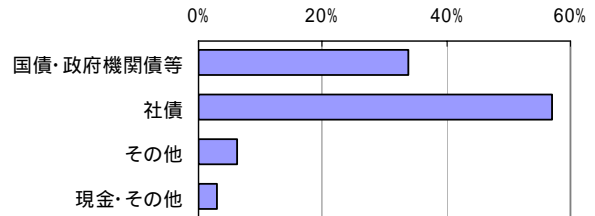
< 組入債券格付別配分 >

(2009年12月末現在)



< 組入債券種別配分 >

(2009年12月末現在)



国別配分、組入債券格付別配分、組入債券種別配分については、フィデリティ・ワールド債券・マザーファンドを100とした場合の純資産総額比率です。格付については、S&P社またはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社を優先して採用しています。(「プラス/マイナス」の符号は省略しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

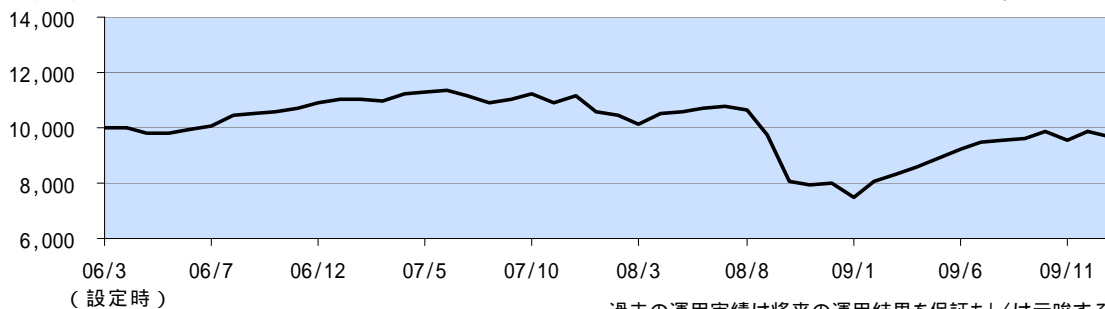
< 組入投資信託の組入比率 >

(2009年12月末現在)

ファンド名称	組入比率
フィデリティ・米国投資適格債・ファンド(適格機関投資家専用)	36.2%
フィデリティ・スターリング・ボンド・ファンド	7.9%
フィデリティ・ファンズ - ユーロ・ボンド・ファンド	35.7%
フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(適格機関投資家専用)	5.1%
フィデリティ・ファンズ - ヨーロピアン・ハイ・イールド・ファンド	5.0%
フィデリティ・ファンズ - エマージング・マーケット・デット・ファンド	10.1%

フィデリティ・ワールド債券・マザーファンドを100とした場合の純資産総額比率です。

(円) < フィデリティ・ワールド債券・マザーファンドの基準価額の推移 > (2010年1月29日現在)



フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日異なる場合があるため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。



フィデリティ・世界分散・ファンド (債券重視型 / 株式重視型)

販売用資料

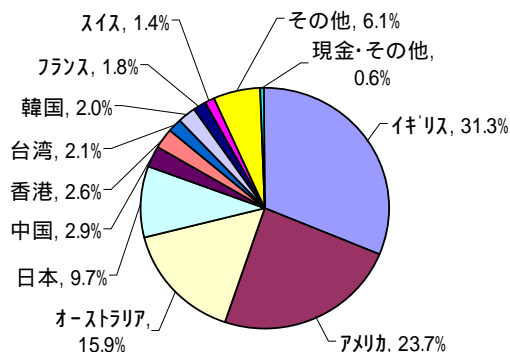
愛称： 3つのチカラ

【ご参考：マザーファンドについての情報です】

フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド

< 国別配分 >

(2009年12月末現在)



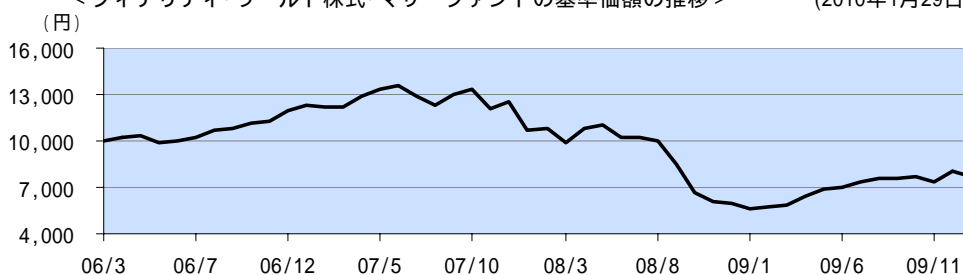
< 組入投資信託の組入比率 >

(2009年12月末現在)

ファンド名称	組入比率
フィデリティ・ファンズ - オーストラリア・ファンド	10.2%
フィデリティ・ファンズ - アジア・パシフィック・グロース・アンド・インカム・ファンド	19.9%
フィデリティ・インカム・プラス・ファンド	34.7%
フィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド(適格機関投資家専用)	25.0%
フィデリティ・日本配当成長株・ファンド(適格機関投資家専用)	9.8%

< フィデリティ・ワールド株式・マザーファンドの基準価額の推移 >

(2010年1月29日現在)



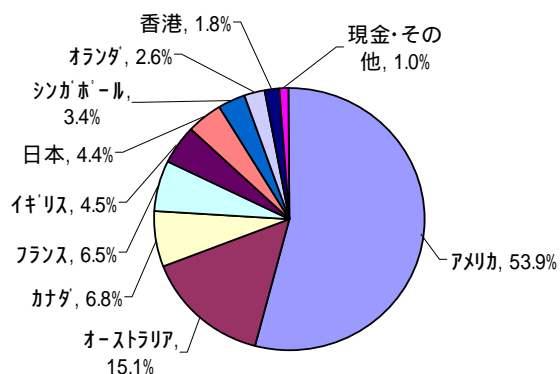
過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

国別配分、組入投資信託の組入比率は、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンドを100とした場合の純資産総額比率です。

フィデリティ・ワールドREIT・マザーファンド

< 国別配分 >

(2009年12月末現在)



< 組入上位10銘柄 >

(2009年12月末現在)

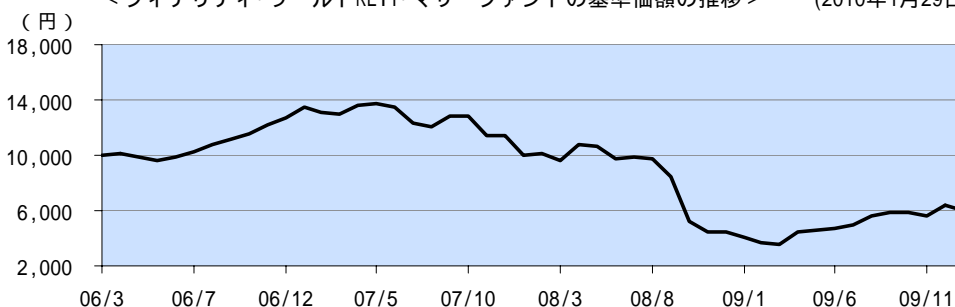
(組入銘柄数：54)

REIT名称	組入比率
1 SIMON PROPERTY GROUP INC	7.5%
2 WESTFIELD GROUP STAPLED UNIT	5.4%
3 UNIBAIL-RODAMCO SE	5.0%
4 DUKE REALTY CORP	4.1%
5 EQUITY RESIDENTIAL	3.8%
6 UDR INC	3.7%
7 CFS RETAIL PROPERTY TRUST	3.5%
8 SL GREEN REALTY CORP REIT	3.4%
9 PROLOGIS	3.2%
10 VENTAS INC	2.9%

上位10銘柄合計： 42.6%

< フィデリティ・ワールドREIT・マザーファンドの基準価額の推移 >

(2010年1月29日現在)



過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

国別配分、組入上位10銘柄は、フィデリティ・ワールドREIT・マザーファンドを100とした場合の純資産総額比率です。国別配分は、各REITファンドの登録国に基づき分類したものです。

フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日異なる場合がありますため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。



フィデリティ・世界分散・ファンド (債券重視型 / 株式重視型)

販売用資料

愛称： 3つのチカラ

【ご参考：マザーファンドについての情報です】

組入投資信託の概要

(2010年1月29日現在)

< 世界債券 >

・フィデリティ・米国投資適格債・ファンド(適格機関投資家専用)(国内証券投資信託)

フィデリティ・米国投資適格債・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の米ドル建て投資適格債券(国債、政府機関債、モーゲージ担保証券、資産担保証券、社債等のうち、いわゆる投資適格債券としての格付を有するものをいいます。)に投資することにより、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行ないます。

ファンド名称	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・米国投資適格債・ファンド(適格機関投資家専用)	-1.2%	-0.2%	-0.3%	13.9%

・フィデリティ・スターリング・ボンド・ファンド(英国籍証券投資法人)

主に英ポンド建ての(または英ポンドに為替ヘッジされた)公社債を投資対象として、魅力的な水準の利息収入の確保を主たる目的とし、元本成長の可能性も目指します。

ファンド名称	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・スターリング・ボンド・ファンド	0.5%	0.5%	2.0%	42.6%

・フィデリティ・ファンズ - ユーロ・ボンド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

ユーロ建ての公社債を主要な投資対象とします。主としてユーロ建ての公社債に投資を行ないます。

ファンド名称	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・ファンズ - ユーロ・ボンド・ファンド	-2.9%	-2.7%	0.8%	31.5%

・フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(適格機関投資家専用)(国内証券投資信託)

フィデリティ・USハイ・イールド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米ドル建ての高利回り社債(ハイ・イールド債券)を主要な投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行なうことを基本とします。

ファンド名称	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(適格機関投資家専用)	-1.7%	3.6%	7.1%	44.2%

・フィデリティ・ファンズ - ヨーロピアン・ハイ・イールド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

本店所在地が西ヨーロッパ、中央ヨーロッパ、東ヨーロッパ(ロシアを含む)にあるか、あるいは主たる業務活動がそれらの地域で行われている企業が発行する高利回りの投資非適格証券に主として投資を行ない、高水準の利息収入の確保と元本成長を追求します。投資非適格証券とはS&Pによる格付けでBB+以下、ないし国際的に認められた格付け機関により同等の格付けを与えられた証券をいいます。

ファンド名称	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・ファンズ - ヨーロピアン・ハイ・イールド・ファンド	-1.4%	-1.3%	12.8%	80.0%

・フィデリティ・ファンズ - エマージング・マーケット・デット・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

主としてエマージング債券へ投資を行なうことにより利息収入の確保と元本成長を目指します。ファンドは、ローカル市場の債券、エマージング市場の発行体が発行した株式や社債等にも投資を行なうことができます。投資対象国としてはラテンアメリカ、東南アジア、アフリカ、東欧(ロシアを含みます。)や中東等を含みます。

ファンド名称	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・ファンズ - エマージング・マーケット・デット・ファンド	-1.4%	1.3%	6.6%	45.0%

過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。
あくまでも参考として情報提供をすることを目的としており、上記個別ファンド売買を推奨するものではありません。また日本での販売を行っていないファンドも含まれます。
作成時点で取得可能なデータに基づき作成しております。
上記収益率は円ベース。



フィデリティ・世界分散・ファンド (債券重視型 / 株式重視型)

販売用資料

愛称： 3つのチカラ

【ご参考：マザーファンドについての情報です】

組入投資信託の概要

(2010年1月29日現在)

< 世界株式 >

・フィデリティ・ファンズ - オーストラリア・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

オーストラリアの企業の株式を主要な投資対象とします。主としてオーストラリアの企業の株式に投資を行いません。

ファンド名称	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・ファンズ - オーストラリア・ファンド	-7.6%	-0.5%	15.1%	98.8%

・フィデリティ・ファンズ - アジア・パシフィック・グロース・アンド・インカム・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

アジア、オーストラリア、ニュージーランドの取引所に上場されている企業およびそれ以外で同地域から収益の多くを得ている企業の中で、配当利回りが高い企業の株式を主要な投資対象とし、安定した配当収益の確保と長期的な元本の成長を目標とします。

ファンド名称	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・ファンズ - アジア・パシフィック・グロース・アンド・インカム・ファンド	-7.5%	0.0%	-2.9%	32.6%

・フィデリティ・インカム・プラス・ファンド(英国籍証券投資法人)

主に英国の証券(普通株式、優先株式、転換社債、社債等を含みます。)を投資対象として、配当収益および長期的な元本成長の双方を獲得することを目標とします。

ファンド名称	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・インカム・プラス・ファンド	-5.0%	0.4%	4.4%	32.5%

・フィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド(適格機関投資家専用)(国内証券投資信託)

フィデリティ・USエクイティ・インカム・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている米国企業の株式等を投資対象として、市場の配当利回りを上回る配当を目指すとともに、長期的な元本成長を目標とします。

ファンド名称	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド(適格機関投資家専用)	-4.5%	0.8%	5.6%	31.8%

・フィデリティ・日本配当成長株・ファンド(適格機関投資家専用)(国内証券投資信託)

フィデリティ・日本配当成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要投資対象とし、高水準の配当等収益の確保を図るとともに投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行いません。

ファンド名称	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・日本配当成長株・ファンド(適格機関投資家専用)	0.5%	-2.0%	-4.4%	13.5%

< 世界REIT >

・フィデリティ・ワールドREIT・マザーファンド(国内証券投資信託)

主として日本を含む世界各国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託(REIT)(これに準ずるものを含みます。)に投資を行ない、配当等収入の確保を図るとともに投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行いません。

過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。
あくまでも参考として情報提供をすることを目的としており、上記個別ファンド売買を推奨するものではありません。また日本での販売を行っていないファンドも含まれます。
作成時点で取得可能なデータに基づき作成しております。
上記収益率は円ベース。

投資方針

- ① 主として、フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド、フィデリティ・ワールドREIT・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、世界(日本を含む)の債券、株式、不動産投資信託(REIT)へ実質的に分散投資を行ない、配当等収入を確保することを目的に運用を行ない、長期的な投資信託財産の成長を目指します。
- ② フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンドの運用は、フィデリティが運用する国内外の投資信託証券への投資を通じて行ない、ファンド分散・地域・種別分散を図ります。
- ③ 各マザーファンドへの基本配分は、主として各資産の利回り水準、流動性、リスク・リターン特性等を考慮して配当等収入の確保とリスクの分散を目指して決定します。また運用環境の変化により配分比率を調整することがあります。
- ④ 各マザーファンド受益証券の資産配分は、概ね投資信託財産の純資産総額に対して以下の比率を基本投資割合とします。

	フィデリティ・ワールド 債券・マザーファンド	フィデリティ・ワールド 株式・マザーファンド	フィデリティ・ワールド REIT・マザーファンド
フィデリティ・世界分散・ファンド(債券重視型)	70%	15%	15%
フィデリティ・世界分散・ファンド(株式重視型)	35%	50%	15%

- ⑤ 隔月決算を行ない、基準価額の水準、市況動向を勘案して配分を行ないます。配分は、利子・配当等収入の他、売買益・評価益を含みません。からも行ない、安定的な配分を目指します。
- ⑥ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。

各々「フィデリティ・世界分散・ファンド(債券重視型)」を「債券重視型」、「フィデリティ・世界分散・ファンド(株式重視型)」を「株式重視型」という場合があります。

資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合もあります。

ファンドの主なリスク内容について

投資信託はリスク商品であり、投資成果は保証されておらず、投資元本を下回ることがあります。

また収益や投資利回り等も未確定の商品です。

下記はファンドのリスクの一部をご説明したものです。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの投資リスク内容について」をご参照ください。

損失の可能性

ファンドがマザーファンドを通じて主に投資を行なう投資対象ファンドは、主として国内外の債券、株式および不動産投資信託(以下「REIT」といいます。を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。ファンドおよびマザーファンドの基準価額は、投資対象ファンドが組入れた債券、株式、REITおよびその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、原則として為替ヘッジを行ないませんので、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動により基準価額は変動します。さらに、投資対象ファンドが組入れた債券、株式、REITおよびその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、組入れた債券、株式、REITおよびその他の有価証券の価格の下落あるいは組入れた債券、株式、REITおよびその他の有価証券の発行会社の倒産ならびに財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。委託会社の指図に基づく行為によりファンドに生じた損益は全て受益者に帰属し、元本が保証されているものではありません。

有価証券(株式・債券・REIT等)の価格変動リスク

基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。

為替リスク

日本以外の外国の有価証券等に投資を行なう場合は、為替リスクが発生し、各国通貨の円に対する為替レートにより、ファンドおよびマザーファンドの基準価額が変動します。なお、ファンドは原則として外貨建資産について為替リスクを回避するための為替ヘッジを行ないません。

カントリー・リスク

海外の金融・証券市場に投資を行なう場合は、当該国・地域の政治、経済および社会情勢の変化により、金融・証券市場が混乱した場合に、基準価額に大きな変動をもたらす可能性があります。また、投資対象先がエマージング・マーケット(新興諸国市場)の場合には、特有のリスク(政治・社会的な不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等)が想定されます。

解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動のリスク

解約資金を手当するため、投資対象ファンドにおいて保有証券を売却いたします。その際には、取引執行コストがかかり、ファンドおよびマザーファンドの基準価額の下落要因となります。また、売却の際の市況動向や取引量等の状況によっては基準価額が大きく変動する可能性があります。また、保有証券の売却代金回収までの期間、一時的にファンドで資金借入を行なうことによりファンドの解約代金の支払に対応する場合、借入金利はファンドが負担することになります。

信用リスク

有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。また、債券等へ投資を行なう場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。

金利リスク

投資対象ファンドの債券投資部分においては、金利の変動を受けて債券価格も変動します。一般に金利が上昇した場合には債券価格は下落し、金利が低下した場合には債券価格は上昇します。金利が上昇した場合、債券価格の下落に伴い、ファンドおよびマザーファンドの基準価額も下落することがあります。

投資対象ファンドにおいて投資を行なうREITは、取引所等で株式と同様に取引されますので、収益の分配状況によっては、金利の上昇局面において、他のより利回りの高い債券などとの比較で売却され、価格が下落することがあります。また、REITが資金調達を行なった場合、借入金の残高や借入期間によっては、金利上昇によって増大した借入コストが保有不動産から得られる収入を上回ることとなり、REITの財務内容が悪化して、REITの価格や配当率の下落に繋がる可能性があります。金利の上昇は、REITの本源的価値を決定する要因である保有不動産の評価額にもマイナスの影響を与え、REITの価格の下落に繋がる可能性があります。一方で、金利上昇は不動産開発に係る資金調達のコストを引き上げ、新たな不動産の供給を抑えることから、この面で、既存のREITにとっては競争抑制要因としてプラスに働くこともあります。

期限前償還リスク

投資対象ファンドの債券投資部分において、組入れた債券が期限前に償還された場合、償還された元本を別の債券等に再投資することになりますが、金利が低下している局面等では、再投資した債券の利回りが償還された債券の利回りより低くなる可能性があります。

ハイ・イールド債券への投資に伴うリスク

投資対象ファンドの債券投資部分において投資を行なうハイ・イールド債券は、上位に格付けされた債券に比べて、企業の経営不振・倒産や、国家の政情・財政不安などにより、債務者が債権者に対して契約に定められた元利金支払を履行できない状態になる（以下「デフォルト」といいます。リスクが高い傾向にあります。デフォルトが生じた場合あるいはデフォルトが予想される場合、ハイ・イールド債券の価格は大きく下落します。

また、ハイ・イールド債券は、金利の変化につれて価格が変動する債券としての性格を持つとともに、株式に類似した特質を併せ有しています。このため、個々の企業の業績、財務内容の変化や全般的な景気動向の影響を強く受け、債券価格は格付けの引き上げ、引き下げなどによって上下に大きく変動します。

ボトム・アップ・アプローチに関するリスク

投資対象ファンドの株式投資部分は、ボトム・アップ・アプローチで組入銘柄を決定します。国別配分、通貨配分および業種配分その他のリスク管理も行ないますが、結果的に、ポートフォリオの国別配分、通貨配分および業種配分や銘柄構成等が投資対象国または地域の株式市場全体とは大きく異なるものとなる場合も想定されます。その場合、ファンドおよびマザーファンドの基準価額の値動きは、投資対象国または地域の株式市場全体の動きと大きく異なる場合も想定されます。

不動産市場に関するリスク

投資対象ファンドにおいて投資を行なうREITは、主として様々な種類の不動産を投資対象としており、REITの価格や配当率は、その保有している不動産の価値や収益性と密接に結びついています。例えば、賃貸物件の供給過剰の場合や景気の悪化等により空室率が上昇した場合には、テナント等の確保を目的とした賃料低下を招き、REITの価格や配当率の下落に繋がる可能性があります。さらに、不動産の需給関係は、住宅、コンドミニアム、オフィスビル、ショッピングモール、レジャー施設、病院など、不動産の種類により異なり、REITの価格動向や配当率も異なります。

有価証券先物取引等のリスク

投資対象ファンドは、証券価格の変動または証券の価値に影響を及ぼすその他の諸要因に関するファンドのリスクを増加または減少させる運用手法（たとえば有価証券先物取引等）を用いることがあります。このような手法が想定された成果を収めない場合、ファンドはその投資目的を達成できず、損失を生じるおそれがあります。

フィデリティ・世界分散・ファンド(債券重視型 / 株式重視型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

商品の内容やお申込みの詳細については

委託会社 フィデリティ投信株式会社

インターネットホームページ : <http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html>

フリーコール : 0120-00-8051 受付時間: 営業日の午前9時～午後5時または販売会社までお問い合わせください。

留意点 お申込みおよびご換金の受付については、原則として、毎営業日(ただし、ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークにおける銀行休業日、英国における休業日および12月25日は除きます。)の午後3時(半日営業日の場合は午前11時)まで受付けます。詳細は販売会社にお問い合わせください。

その他のファンド概要

設定日 2006年3月9日

信託期間 原則として無期限

ベンチマーク ファンドにはベンチマークを設けません。

収益分配 毎年1、3、5、7、9、11月の各10日(ただし休業日の場合は翌日以降の最初の営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づき分配を行ないます。ただし、必ず分配を行なうものではありません。

お申込み価額 お申込み受付日の翌営業日の基準価額

ご換金価額 換金請求受付日の翌営業日の解約価額(=基準価額 - 信託財産留保額)
ご換金代金の支払開始日は原則として換金請求受付日より6営業日以降になります。

ファンドに係る費用・税金

お申込み手数料 3.15%(税抜き3.00%)を上限として販売会社がそれぞれ定める料率とします。

ご換金手数料 なし

信託報酬 純資産総額に対し年率0.819%(税抜き0.78%)

このほかに、ファンドが投資する投資信託証券の運用報酬等が別途課されるため、実質的な信託報酬等は、債券重視型は年率1.24%±0.10%、株式重視型は年率1.28%±0.10%(いずれも税抜き)程度となる予定です。(投資する投資信託証券の変更等により実質的な信託報酬等は変動することがあります。)

その他の費用 法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等が投資信託財産から差し引かれます。

課税関係 原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。

信託財産留保額 基準価額に対して0.20%

当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。課税上は株式投資信託として取扱われます。

ファンドに係る費用・税金の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他の関係法人

委託会社 フィデリティ投信株式会社 【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号
【加入協会】社団法人 投資信託協会 社団法人 日本証券投資顧問業協会
投資信託財産の運用指図などを行ないます。

受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
投資信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指示・連絡などを行ないます。

販売会社 販売会社につきましては、委託会社のホームページ アドレス: <http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html> をご参照または、フリーコール: 0120-00-8051(受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)までお問い合わせいただけます。ファンドの募集の取扱い、一部解約の実行の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・償還金・一部解約金の支払などを行ないます。

- ・当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。
- ・投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなされますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- ・投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。
- ・販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入しておりません。
- ・投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
- ・「フィデリティ・世界分散・ファンド(債券重視型 / 株式重視型)」がマザーファンドを通じて主に投資を行なう投資対象ファンドは、主に国内外の債券、株式および不動産投資信託(REIT)を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ・ファンドおよびマザーファンドの基準価額は、投資対象ファンドが組み入れた債券、株式、REITおよびその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあ

- ります。また、投資対象ファンドが組み入れた債券、株式、REITおよびその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ・ご購入の際は契約締結前交付書面および投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- ・投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ <http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html> をご参照ください。
- ・当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- ・FIL LimitedおよびFMR LLCとそれらの関連会社のネットワークを総称して「フィデリティ」ということがあります。

フィデリティ・世界分散・ファンド(債券重視型/株式重視型) 販売会社情報一覧(順不同)

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券 投資顧問業協会	(社)金融先物 取引業協会
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号		
岩井証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第3号		
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号		
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号		
オリックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第55号		
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号		
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第56号		
コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号		
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号		
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号		
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号		
株式会社泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第12号		
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号		
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第40号		
中央証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2134号		
トヨタフィナンシャルサービス証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第16号		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号		
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号		
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号		
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号		
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号		
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号		
ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・ コーポレーション・リミテッド(香港上海銀行)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第105号		
みずほインベスターズ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第173号		
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号		
株式会社琉球銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第2号		
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号		

* 上記情報は当資料作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
販売会社によってお申し込みの条件、制限等が異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。